



しがパパママスクール

2019



共働き世帯が増加した現代社会において、仕事と家庭を両立していくためには、積極的な家事・育児参画など家庭における夫婦の協力が重要ですが、男性は積極的に関わりたいという希望はあるものの、家事・育児に関する知識や経験を得る機会が少ないため、具体的な方法などが分からないといった課題があります。

男女が共に「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」が実現できる環境づくりのためには、男性中心型労働慣行の変革とともに、男性が家事・育児の実践的なスキルを身に付けることや、家庭において夫婦がお互いを尊重し協力し合うというパートナーシップの醸成が大切です。共に歩んでいこうとする共働きの夫婦等を対象として“しがパパママスクール”を開催しました。



どの講座も参加者の満足度が非常に高く、今後の実践に生かすことができるとの感想が多かったです。まずはやってみることが大切です。第3回では、「トモシヨク＝誰かと共に食事をする」とを第一に考えることで、働き方について考え直すことができるということを教えていただきました。何のために働き方改革をするのかを考える機会となりました。



人気の講師陣の元、まずは始めてみることをコンセプトに、楽しみながら男性の家事・育児の第一歩を踏み出しました！

- 10月26日(土) 11月10日(日)
『遊びのプロ秘伝！親子で体感・ダイナミック遊び！』
講師：和田のりあきさん(マジックパパ代表)
- 11月24日(日)
『ビストロパパと一緒にパパ料理ワークショップ』
パパが作って親子でトモシヨク』
講師：滝村 雅晴さん(株式会社ビストロパパ代表取締役)
- 12月7日(土)
『パパと子で「ママの仕事応援」親子で楽しむ家事・育児』
講師：石倉 和美さん(ポジティブトランジション代表)
和田のりあきさん(マジックパパ代表)

図書資料室より 書籍案内

男女共同参画に関する図書や関連資料、DVDやビデオなど6万冊以上の蔵書があり、貸出しをしています。レファレンスサービス、情報提供も充実しています。ぜひ、ご利用ください。

『地方を変える女性たち カギは「ビジョン」と「仕組みづくり」！』 麓幸子：著 日経BP社 2018年

農家の母さん、Uターンしてきた若者、旅館を引き継いだ若女将など、地方が直面しているさまざまな課題に挑戦し変革をおこしている女性たち。彼女たちに共通しているのは、会社や行政などの組織の中で、あるいは起業、NPO法人設立などを通して、課題に対してまず行動を起こすこと。そしてその過程において、行政や地域の人、NPO法人など他の団体と連携が図られ、地域再生への新たな展開が次々と生まれているということです。女性リーダーたちのしなやかな考え方と行動力から、さまざまな場における課題解決のヒントが見つかります。



『働く女性に贈る27通の手紙』 小手鞠るい・望月衿子：共著 産業編集センター 2018年

女性が働き続ける間には、恋愛・キャリア・結婚・子どもを持つか持たないか・親との関係・老いなどさまざまな選択の機会が訪れます。この本では、40代の編集者と60代の作家の往復書簡という形でそれぞれの選択について語られていますが、根底には「働くこと」というテーマは「女性の生き方」そのものであるというメッセージがこめられています。

「迷ったらとりあえずやってみる」「どんな選択をするにせよ、選んだ人生を悔いなく生きることが大事」など、すべての女性の背中をそっとおしてくれる言葉があふれ、年を重ねることも悪くないと勇気づけてくれます。

たねや 株式会社たねや (近江八幡市)

女性が安心して働ける場づくりを

株式会社たねやでは、産休や育休はもちろんのこと、育児のための短時間勤務や半日休暇などの制度面の整備のほか、企業内「おにぎり保育園」を設立するなど、子

食育にも取り組むおにぎり保育園



育てへのサポート体制を整え、仕事と家庭の両立支援に早くから取り組み、休業後も職場復帰しやすい環境をつくることで、キャリアパスを実現されています。

その結果、株式会社たねやでは女性の管理職比率が**47.2%**を占めるまでになっています。

これまでの取り組み・実績が評価され、株式会社たねやは、内閣府が実施する令和元年度「女性が輝く先進企業表彰」において、女性の登用に関する方針、取り組み、実績等において顕著な功績があった企業として内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰を受賞されました。



店舗の責任者の多くは女性

すごい！ 女性が活躍する県内企業

厚生労働省「イクボスアワード2019」グランプリ 受賞



株式会社シンコーメタリコン (湖南市)



ユニークな取組の数々

株式会社シンコーメタリコンの取締役広報部長兼営業事務課長 玉置千春氏は、厚生労働省が行う「イクボスアワード2019」の最高賞であるグランプリを受賞されました。



立石社長と玉置氏による「育休出勤」された社員の子育て面談の様子

この表彰は、働きながら安心して子どもを育てることができ、労働環境の整備推進のために個人を表彰するもので、玉置氏は、風通しのよい職場づくりに努め

られていることが評価され、グランプリを受賞されましたがその職場づくりに一役買ったのが、株式会社シンコーメタリコンのユニークな制度の数々。

スムーズな職場復帰を促すために育児休業中に子どもを連れて出社する「育休出勤」や7日間連続で休暇を取得できる「ドリームセブン」など社員は働きやすい環境のもと、のびのびと仕事をされています。



玉置氏は(株)シンコーメタリコン初の女性取締役でもある

ココがすごい！

データで読み解く表彰のワケ

■管理職に占める女性の割合

14.7%

平成27年の国勢調査によれば滋賀県の管理的職業従事者（会社役員・管理的公務員含む）に占める女性の割合は**2割以下**。まだまだ、女性がその力を活かし、そして評価される環境とは言い難いのが実状です。そうした中、今回表彰を受けた2社では、多様な取組を通じて女性がはつらつと働ける環境、評価される仕組を整え、その活躍をサポートされています。